

地域スポーツの今後の野球の課題

古賀 大誠 (生涯スポーツ学科 地域スポーツコース)

指導員 金森 雅夫

キーワード:野球用品の費用負担, 少子化の現状, スポーツの多様化

1. 緒言

近年数多くの日本のプロ野球選手が海の向こうメジャーリーグへ移籍し活躍している。プロ野球のみならず,社会人野球,独立リーグ,高校野球,また 2009 年には女子プロ野球が創設した。多くの競技人口が存在し,多くの人々から愛されている国民的スポーツ,第 1 回ワールド・ベースボール・クラシック (WBC) においても我が国日本が初優勝を飾っており,競技レベルも高いものがある 2020 年東京五輪では除外されていた野球の種目が復活する見込みである。だがしかし現在の日本は急速な少子高齢化が進んでいる。このような状況で 10 年 20 年先を見据えた場合,現在の野球人気を維持,向上させていくためには今後地域スポーツとして野球というスポーツをどのような方向性にしていけば次の世代に受け継がれていくのか問題点を探しどのようにすれば改善できるかを考えていくことを目的とする。

2. 研究方法

研究方法としては野球用品の費用負担,少子化の現状,スポーツの多様化,野球を行うスペースの減少などキーワードから資料収集を行い参考,分析を進める。

3. 結果と考察

少子化の影響は社会問題となっているが今後スポーツ界への影響も大きいと考えられる。特に野球はこの少子化の影響を受けており,中学生の選手数はそれほど減少はして

いないみたいであるが,特に小学生の選手数が減少してチームが成り立っていないケースも多い。野球道具を一式揃えるとなるとグローブやバットなど数万円する道具が多いため負担が多い。グローブは試合や練習で使用していると消耗してくるので,同じグローブでずっとプレーするというのも厳しい。また金額が高価な物が多く,小学校,中学校,高校,大学で野球をすることになると,経済的にも負担が大きいため考慮して野球というスポーツをさせない家庭も少なからずは存在していると思われる。

4. まとめ

本研究で分かったことは野球人口が減少傾向の原因としてまず 1 つ挙げられるのは,少子化による原因が大きいことが挙げられるが,年代によっては競技人口が増加している種目もあり少子化のみの影響ではない事が分かった。他にも昔と現在による環境の違いも野球人口の減少に大きな影響を与えていると考えられている。またスポーツの多様化により野球以外の種目を選ぶ子どもたちが増えてきている,環境,スポーツの多様化,時代の流れ,少子化など複数の問題点が重なり野球少年の減少に繋がっていると考えられる。

引用・参考文献

・公共財団法人 日本中学校体育連盟
<http://njpa.sakura.ne.jp/kamei.html#h23join>